大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康・友愛・奉仕をめざして
市内全会員に配布

# 大老連だより

令和２年　７月号
第736号　隔月１日発行
令和２年（2020年）７月１日
定価30円（送料別）　年間購読料600円（送料共）
購読お申し込みは、大老連だより編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター３階
発行所　一般社団法人　大阪市老人クラブ連合会
電　話　事務局 06(4304)8555
編集室 06(4304)8556
ＦＡＸ　06(4304)8557

# 大老連理事会を開催

## 大老連定時総会の決議案件・報告案件を承認

大阪市老人クラブ連合会理事会が、6月2日（火）大阪市天王寺区の大阪市立社会福祉センターで開催され、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために延期されている定時総会の開催と総会における決議案件および報告案件が全会一致で承認されました。

当初5月26日開催を予定していた定時総会ですが、感染拡大防止のため「3密」を起こさないような会場の確保と設営を下旬に開催することになりました。

この定時総会では、欠員のある理事・監事の選任および令和元年度収支決算の承認の2つの議案の決議と令和元年度事業報告および公益目的支出計画実施報告が行われますが、今回の理事会で承認された令和元年度事業報告書の概要は次の通りです。

また、理事会では、令和2年度の事業計画のうち高齢者福祉大会などの大老連事業の取り扱いを審議しました。

令和2年度の大老連事業については、2月中旬から始まった政府や大阪府・大阪市の新型コロナウイルス感染拡大防止策の実施に伴い、4月当初から延期あるいは中止せざるを得ない状況となっていました。5月末には、政府の「緊急事態宣言」や大阪府の「緊急事態措置」が解除され、事業実施への明るい兆しはあるものの、なお感染が再拡大する懸念があるほか、新しい生活様式の受容などによる種々の制約があるため、計画の中止や内容の変更が決定されました。（中止・内容が変更された大老連事業は別掲のとおり。）

開会のあいさつをする野口理事長

### 令和元年度事業報告書（概要）

総務省が昨年9月に発表したところによると、人口の高齢化は出生率の低下と相まってますます加速化しており、65歳以上の高齢者人口は3,588万人で全人口に占める割合が28・4％と過去最高となる超高齢社会を迎えております。

「高齢者の世紀」と称されることもある21世紀において、豊かで活気のある長寿社会を築いていくためには、高齢者が地域社会において積極的に役割を果たしながら生き生きがいを持って生活をしていくことが必要です。そのためには、積極的に地域活動に参画し、培ってきた経験や知恵を活かした取り組みを進めるなど、私たち老人クラブの役割がとても重要なものになっています。

このような中で、大老連では「老人クラブの元気は地域の元気」の信念のもとに、全老連が提唱する老人クラブ21世紀プランに沿って、「健康・友愛・奉仕」の実現をめざして、さまざまな活動を展開してきました。

まず、健康づくりとして、ゲートボール大会等のスポーツ事業を実施するとともに、区老連活動を支援するため「高齢者の健康ウォーキング事業」への助成事業を継続実施するなどの取組みを積極的に進めてきました。

また、ねたきり高齢者の友愛訪問や百歳長寿者のお祝い訪問、友愛募金運動の推進などの友愛活動、そして全国一斉「社会奉仕の日」や環境美化・リサイクル活動の取組み、あるいは子ども見守り活動などの奉仕活動、友愛募金運動推進事業である第8回カラオケ大会の開催、さらには、豪雨災害発生に対する募金活動など多様な活動を精力的に実施してきました。

3密を避けるため１人掛けで開催

さらに近年、全国的にオレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺が多発し、特に高齢者の被害が増え続けているため、大阪府警察、大阪市消費者センター等と連携し、高齢消費者被害防止に取り組んできました。

そのような中で、今後、老人クラブの発展をめざすには、その活動を担う指導者の養成が今一番大切であり、単位老人クラブの会長や女性部長を対象とした指導者合同研修会の開催をはじめ、次世代を担う女性部リーダーを対象とした研修を開催するほか、今年11回目を迎える「健康づくり推進リーダー養成講座」は内容の充実を図り継続実施し、各区老連への出前講座としての「リーダー養成講座」も引き続き実施するなど、幅広い人材育成、リーダー養成に努めてきたところです。

さらに、大阪市高齢者福祉大会の大阪市との事業共催をはじめ、各区老人福祉センターを拠点として活動している各区老連事業とも緊密な連携を図りながら、近畿老人クラブ連絡協議会に参画し、「近畿ブロック老人クラブリーダー研修会」については本会が当番老連として近畿の府県市老連257人の参加を得て開催しました。また全国老人クラブ連合会等の実施する「全国老人クラブ大会」や「女性リーダーセミナー」などへの参加により広い視野に立って積極的で活発な活動を展開してきました。

そして、全国の老人クラブが抱える重要課題である会員の減少や財源の確保等に対しては、全老連において平成26年度から平成30年度までの5年間において老人クラブ「100万人会員増強運動」を推進し、これに呼応して、大老連においても、老人クラブ「1万人会員増強運動」を展開し、会員の減少の歯止め、新規会員の勧誘活動を積極的に推進してまいりましたが、依然として会員の減少に歯止めがかからない状況が継続しています。会員数の減少等による厳しい財政状況に対応するため、事務局職員を削減するほか、昭和33年8月の創刊以来、毎月発行してきた機関紙（月刊大老連）を名称も「大老連だより」と改め、隔月発行に変更しました。

大老連としては、地域の高齢者を代表する組織として、高齢者が活力を持って明るく豊かな長寿社会となるよう人生の充実と長寿を喜びあえる地域社会づくりに取り組んできたところです。

### 令和２年度大老連事業で中止・内容が変更となった事業

| 事業名 | | 当初計画（内容） | 変更後 |
|---|---|---|---|
| 高齢者福祉大会 | | ○９月９日(水)　国際交流センター<br>第１部　式典・表彰<br>第２部　アトラクション | 中止（表彰のみ別途実施） |
| グラウンド・ゴルフ大会 | | ○６月９日(火)<br>大阪城公園太陽の広場 | 11月開催（11月開催予定のペタンク大会を中止して振替実施） |
| 高齢者福祉月間 | ねたきり高齢者友愛訪問 | ○７～８月　対象者調査（訪問等）<br>○９月　友愛訪問 | ・対象をクラブ会員とする<br>・戸別訪問調査は中止<br>・友愛訪問は状況を見て随時実施 |
| | 全国一斉社会奉仕の日 | ○社会奉仕の日（９月20日）に一斉清掃等 | 実施を前提とし今後の状況で判断 |
| | 百歳長寿者お祝い訪問 | ○７～８月　対象者調査（訪問等）<br>○９月　訪問し祝い品贈呈 | ・対象をクラブ会員とする<br>・戸別訪問調査は中止<br>・訪問は状況を見て随時実施（状況により祝い品のみ送付） |
| 高野山供養塔法要 | | ○９月23日(水)<br>高野山奥の院<br>大老連供養塔 | 会員等の一般参加は募集せず、区老連会長及び供養塔運営委員で希望者のみで実施 |

## 随意随想

### コロナ騒動から学んだこと

桃山学院大学名誉教授　石田　易司

新型コロナウイルスにはずいぶん悩まされたが、学ぶこともたくさんあった。この年になって今更「学び」ではないかもしれないが、いくつになっても成長できると思いながら、この原稿を書いている。コロナ騒動も今は途中経過だから、この原稿が出るころには、後の祭りになっているかもしれないが。

まず、私のような「認知症になったら絶対に徘徊する」と家族に言われているものにとって、自宅でじっとしているということがどんなに苦痛かを改めて思い知らされた。どこかに行きたいのだが、いけないのだ。自由な時間がたくさんあることが必ずしも幸せにはつながらないことをまず知った。

そこで何をしていたかというと、まず家の内外の掃除・整理である。週2回のゴミ出しの日、あまりにもたくさんのビニル袋がごみ集積場所に出されているので、暇ができないと掃除ができないのは私だけではないと思った。例えば、若いときに買った派手なセーターのように、まったく着ないけれど、捨てもできなかった服がたくさんあって、狭い家の中で、無駄に場所を占拠していたことを知った。ものを捨てると家が広くなる。

買い物に行くことがこんなにリフレッシュできるものかとも思った。わざわざ都心の百貨店の地下の食品売り場まで行って、普段は買わない値段の高い刺身を一切れ買ったりすることが、とても快感だった。財布を握っている人はこんなことでストレスを解消して、パートナーのわがままに付き合ってくれていたのだ。

また、定時のテレビニュースをはじめ、これまでの人生でこんなに長い時間テレビを見たことがないと思えるくらいテレビを見た。その大半がＮＨＫなのだが、なんと再放送の多かったことか。朝の5時も6時も7時もほとんど同じニュースを流しているとがなかった生番組が国会中継。議員の弁舌はすごい。カンニングペーパーを見ながら見事に自分の言葉でしゃべる技術に感動さえ覚えた。こんな人が政治家や大臣になるのだと分かった。

その大臣や首長の中で何より大切だと思ったのが、先を見る目と決断力だ。選択肢はいっぱいある。いつ緊急事態宣言を出し、それを解除するのか、たくさんの人の生活を決定づける、あまりにも大きな決断だろう。産業や経済を停滞させないで、人の命を守るという、今回は明らかに矛盾する事態、つまり、どちらを優先させても賛成する人と反対する人がいることを決めなければならないのは、大変なことだったろう。その決断する勇気はすごい。私なら、うじうじと悩み続けるだろう。それをあんなに堂々と、世の中は私の思うように動くとばかりに断言できるのはすごい。しかも、その決断が違っても、謝りもしない根性はもっとすごい。いつまでたっても「この1～2週間、我慢してください」と言い続けることに、ためらいもなしし、ドラマもドキュメントも歌番組まで、再放送、ＮＨＫも忙しいだろうし、人もいないのだろうが、ＮＨＫを批判する政党ができ、国会議員が生まれるのが納得できてしまった。

そのテレビで、これまであまり見たことを閉めさせてしまった。「要請」というのは「命令」だったんだと、権力というものの本質を思い知った。

しかも、パチンコがしたい人にとっては、死ぬかもしれない病気も怖くない、そして、そういう人がたくさんいることも改めて知った。こんな国でカジノを開いていいんだろうか。

そして、何より強く思い知ったのが、コロナのような、人が簡単にコントロールできないものが出てこないと、世の中は変わらないんだということ。ＩＴ社会といいながら、テレワークや学校での遠隔授業にはついていけない自分がいる。学校を世界の趨勢に合わせて9月から始めたらという意見にはもろ手を挙げて賛成できない自分がいる。ハンコなんかなくてもいいと普段は思っているのに、いざとなると、そうは言いきれない自分がいる。

それなりに器用に生きてきたし、社会の変化にも適応してきたと思っていたが、この年になって、自分の経験が活きないような社会になると、明らかに戸惑っている自分がいる。

人通りのない繁華街をネズミが群れている光景がテレビで映されていたが、コロナ騒動のその先の社会の変化に戸惑っている自分に比べ、繁華街を我が物顔に闊歩するネズミたちの姿こそ学ぶべき姿だと思った。

そのすばらしい決断で納得できなかったのが、パチンコ騒動。知事さんたちは、営業の自粛をしてくださいとお願いをしていたはずなのに、自分の言うことを聞かないと、店の名前を公表するぞと脅しをかけて、大阪ではとうとうすべての店

特別定額給付金に関するお知らせ

給付金のサギに注意!!（詐欺）

絶対に教えない！渡さない！

●暗証番号　●通帳　●マイナンバー
●口座番号　●キャッシュカード

市区町村や総務省などが以下を行うことは絶対にありません
✖ 現金自動預払機（ATM）の操作をお願いすること
✖ 受給にあたり、手数料の振込みを求めること
✖ メールを送り、ＵＲＬをクリックして申請手続きを求めること

「怪しいな？」と思ったら遠慮なくご相談ください
消費者ホットライン（局番なしの３桁）188
新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン 0120-213-188
お住まいの市区町村
お近くの警察署
警察相談専用電話 #9110

総務省 給付金　検索　総務省　消費者庁　警察庁　令和２年５月